

令和2年度

3年次編入学（第2次）学生募集要項

令和元年7月

富山大学都市デザイン学部

目 次

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
1 募集人員	2
2 出願資格	2
3 出願資格審査	2
4 出願手続	3
5 選抜方法	4
6 試験期日及び時間	4
7 合格者の発表	4
8 入学確約書	4
9 入学手続	4
10 追加合格	5
11 入学時期及び修学条件	5
12 障害を有する入学志願者の事前協議	5
13 留意事項	5
14 志願者等の個人情報の取扱い	6
15 シラバスウェブサイト	6
都市デザイン学部学科紹介※募集する学科のみ	7

添付書類

- 3年次編入学願書
- 振替払込受付証明書・写真票・受験票
- 調査書
- 在学期間証明書
- 出願資格証明書
- 事前審査願
- 検定料振込書
- 検定料返還請求書
- あて名票

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

富山大学 入学者受入れの方針

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科 入学者受入れの方針

都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科では、幅広い知識を身に付けるとともに、豊かな人間性を涵養し、地球（環境）、都市・交通、材料に関する深い専門的学識や技術を修得して、地域社会や国際社会の持続的発展に貢献する意欲のある人材を求める。このため、特に以下のような人材を求める。

- ・都市や地域の創生に興味のある人
- ・美しい都市や地域の実現に興味のある人
- ・都市のユニバーサルデザインに興味のある人
- ・地域を支える、便利で合理的な交通システムの開発や計画に興味のある人
- ・防災の在り方やその具体的な方策から、安全・安心な社会の実現に興味のある人
- ・物理学や化学の知識に基づいて、材料の様々な特性・特徴が発現する仕組みの解明に興味のある人
- ・社会や自然の環境に強い興味を持ち、新素材や新機能材料の開発に興味のある人

1. 募集人数

学 科	募集人数
都市・交通デザイン学科	各学科若干名
材料デザイン工学科	

※地球システム科学科は募集しない。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 大学を卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者
- (4) 大学に 2 年以上在学（休学期間を除く。）し、62 単位以上を修得した者及び令和 2 年 3 月末までに同要件を満たす見込みの者（本学在学中の者を除く。）
- (5) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が、1,700 時間以上であること。）を満たすものを修了した者及び令和 2 年 3 月修了見込みの者（ただし、学校教育法第 90 条第 1 項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (6) 外国において、学校教育における 14 年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び令和 2 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和 2 年 3 月修了見込みの者（ただし、学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）

3. 出願資格審査

出願資格(5)、(6)又は(7)により出願しようとする者については、資格の審査を行うので、あらかじめ次の書類を提出してください。

(1) 資格の審査に必要とする書類

① 出願資格(5)により出願しようとする者

ア 事前審査願（本学所定の用紙）

イ 修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上であると専修学校長が証明した書類（様式自由）

ウ 返信用封筒（長形 3 号封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手 362 円分（郵便料金値上げ後は、値上げ後の郵便料金に従ってください。）をはり付けたもの。）

※必要に応じて、その他書類の提出を求めることがあります。

② 出願資格(6)により出願しようとする者

ア 事前審査願（本学所定の用紙）

イ 卒業（見込）証明書とその日本語訳文

ウ 学業成績証明書とその日本語訳文

エ 住民票の写し（現に日本国に在住している外国人志願者）

オ 日本留学試験の成績通知書（写）又は日本語能力試験（1 級又は N 1 レベル）の合否結果通知書（写）

カ 返信用封筒（長形 3 号封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手 362 円分（郵便料金値上げ後は、値上げ後の郵便料金に従ってください。）をはり付けたもの。）

※必要に応じて、その他書類の提出を求めることがあります。

③ 出願資格(7)により出願しようとする者

ア 事前審査願（本学所定の用紙）

イ 修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総単位数その他の事項が、文部科学省が定める基準を満たしていると学校長が証明した書類（様式自由）

ウ 返信用封筒（長形3号封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手362円分（郵便料金値上げ後は、値上げ後の郵便料金に従ってください。）をはり付けたもの。）

※必要に応じて、その他書類の提出を求めることがあります。

（注）各証明書は、原本を提出してください。写しが提出された場合は受理しません。

(2) 書類提出期限

令和元年10月16日（水）17時までに必着とします。

提出は、原則郵送とします。

やむを得ず持参する場合は、10月15日（火）から10月16日（水）の期間、9時から17時まで受け付けます。

(3) 審査結果の通知

事前審査の結果は、令和元年10月29日（火）頃までに本人宛に通知します。

4. 出願手続

(1) 願書受付期間

令和元年11月1日（金）～11月8日（金）

受付は午前9時から午後4時までとします。

なお、郵送の場合は書留とし、封筒に「編入学願書在中」と朱書し、11月8日（金）午後4時までに必着とします。ただし、11月7日（木）以前の消印（日本国内の郵便の消印に限る。）のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

(2) 出願書類等

書 類	摘 要
1 編入学願書	本学所定の用紙による。
2 受験票・写真票	本学所定の用紙による。写真は、上半身、脱帽、正面向きのもので出願前3か月以内に撮影したもの。
3 卒業（見込）証明書 又は在学（期間）証明書	出身学（校）長又は学部長が作成したもの。 出願資格(4)に該当する者は、本学所定の在学期間証明書及び62単位を修得したことを証明する書類又は令和2年3月までに修得見込みであることを証明する書類（様式任意：現在履修中及び履修予定の科目名と単位数が分かるもの）を別途提出してください。
4 調査書	本学所定の用紙により、出身学（校）長が作成し、厳封したもの。
5 出願資格証明書	本学所定の用紙による。出願資格(7)による者のみ提出してください。
6 返信用封筒	受験票等送付用（長形3号封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記し、362円（郵便料金値上げ後は、値上げ後の郵便料金に従ってください。）切手貼付）
7 住民票の写し ※外国人志願者のみ提出してください。	居住している市区町村長発行のもので、在留資格が明示されているもの。

8	受験許可書	現在、在職中の者は、所属長の発行したものを提出してください。（様式任意）
9	検定料振込証明書 (検定料 30,000 円)	本要項に綴り込みの検定料振込書により検定料を振り込み、受領した「振替払込受付証明書」を出願書類の所定欄にはり付けて提出してください。 「領収証書」は、改めて大学から発行しませんので、金融機関発行の「振替払込請求書兼受領証」を大切に保管願います。
10	あて名票	本学所定の用紙による。

(注) 外国語で書かれた証明書には、必ず日本語訳を添付してください。

(3) 出願書類等の提出先

富山大学都市デザイン学部事務室（入試担当）

〒930-8555 富山市五福 3190 番地

5. 選抜方法

口述試験を含む面接の結果と、出身学(校)長が作成した調査書の評価結果を総合して判定する。

6. 選抜期日及び時間

(1) 実施日時

区分	令和元年 11 月 27 日 (水)	
	科目	時間
都市・交通デザイン学科	口述試験を含む面接	15 : 00～
材料デザイン工学科		

(注) 口述試験の内容

都市・交通デザイン学科：数学、物理及び土木系専門科目に関する設問

材料デザイン工学科：数学、物理、化学及び材料に関する設問

(2) 試験場

富山大学都市デザイン学部（富山市五福 3190）

7. 合格者の発表

合格者の発表は、令和元年 12 月 6 日（金）午前 10 時に本学部に掲示し、合格者の受験番号を本学のウェブサイト (<https://www.u-toyama.ac.jp/>) の「入試情報」にも掲載します。（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧することができます。）

合格者には郵送により合格通知書等を出願書類の「あて名票」に記載された住所へ送付します。

なお、合否について、電話その他による問い合わせには一切応じません。

8. 入学確約書

入学確約書は、富山大学都市デザイン学部長あて、令和元年 12 月 20 日（金）までに提出してください。

提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

9. 入学手続

詳細については入学確約書提出者に別途通知します。

(1) 入学手続日

令和2年2月中旬(予定)

入学手続関係書類を出願書類の「あて名票」に記載された住所へ送付します。

(2) 入学手続送付場所

富山大学学務部入試課 〒930-8555 富山市五福 3190

(3) 入学手続時に要する経費

① 入学料 282,000円(予定額)

なお、上記の入学料は、予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、改定時から新たな入学料を適用します。

② その他 学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(注) 授業料の納付方法

入学後に徴収します。なお、納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

<参考>令和元年度授業料前期、後期各 267,900円(年額 535,800円)

10. 追加合格

入学手続締切日において、入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、追加合格による欠員補充を行うことがあります。

11. 入学時期及び修学条件

編入学の時期は令和2年4月とし、編入学年は3年次とします。

編入学後2年以上4年以内に本学部規則に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士(工学)の学位を授与します。

12. 障害を有する入学志願者の事前協議

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度)があつて、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願の前にあらかじめ本学部に出願してください。

また、申し出に基づき協議が必要となった場合は、下記のとおり申請書を提出してください。

(1) 協議申請の期限

令和元年10月23日(水)まで

(2) 協議の方法

協議申請書(健康診断書等必要書類添付)を提出することとし、必要な場合は、本学部において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等と面談等を行います。

(3) 連絡先

富山大学都市デザイン学部事務室(入試担当)

〒930-8555 富山市五福 3190 番地 電話 076-445-6698

13. 留意事項

(1) 出願書類等を郵便で請求する場合は、郵便番号、住所及び氏名を明記した返信用封筒(角形2号)に205円(郵便料金値上げ後は、値上げ後の郵便料金に従ってください。)切手をはり、封筒の表に「3年次編入学学生募集要項請求」と朱書きして、富山大学都市デザイン学部事務室(入試担当)あてに申し込んでください。

(2) 一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があつても返還しません。

① 検定料の返還請求ができるもの

ア 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 [返還額] 30,000円

- イ 検定料を二重に払い込んだ場合〔返還額〕30,000円
 - ウ 検定料を多く払い込んだ場合〔返還額〕多く払い込んだ額
- ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

② 返還請求の方法

別紙「検定料返還請求書」により、ア及びイの場合は必ず「振替払込受付証明書」をはり付けて富山大学へ郵送してください。ウの場合は、別途富山大学財務部経理課まで連絡してください。

送付先及び連絡先 〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学財務部経理課
電話 (076) 445-6053

- (3) 出願書類の提出後における「志望学科」の変更は認めません。
- (4) 編入学願書の「連絡先」は、出願書類に関する照会、合格通知、その他緊急の際に必要なので、変更があった場合は、至急、富山大学都市デザイン学部事務室（入試担当）に届け出てください。
- (5) 選抜試験を受けるときは、必ず受験票を携帯してください。
- (6) 選抜試験において、各学科所定の試験科目を一部でも欠席した者は、失格とします。
- (7) 入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

14. 志願者等の個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援指導関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、本学の関係団体である後援会、生活協同組合及び同窓会（入学者のみ）からの連絡を行うために利用する場合があります。

（注）上記団体からの連絡を希望しない場合は、理工系事務部理工系学務課（都市デザイン学部事務室）にその旨申し出てください。

- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

15. シラバスウェブサイト

富山大学のウェブサイトで、富山大学シラバスを閲覧できます。

富山大学ウェブサイト>受験生の方>富山大学の授業>Web シラバス（授業案内）

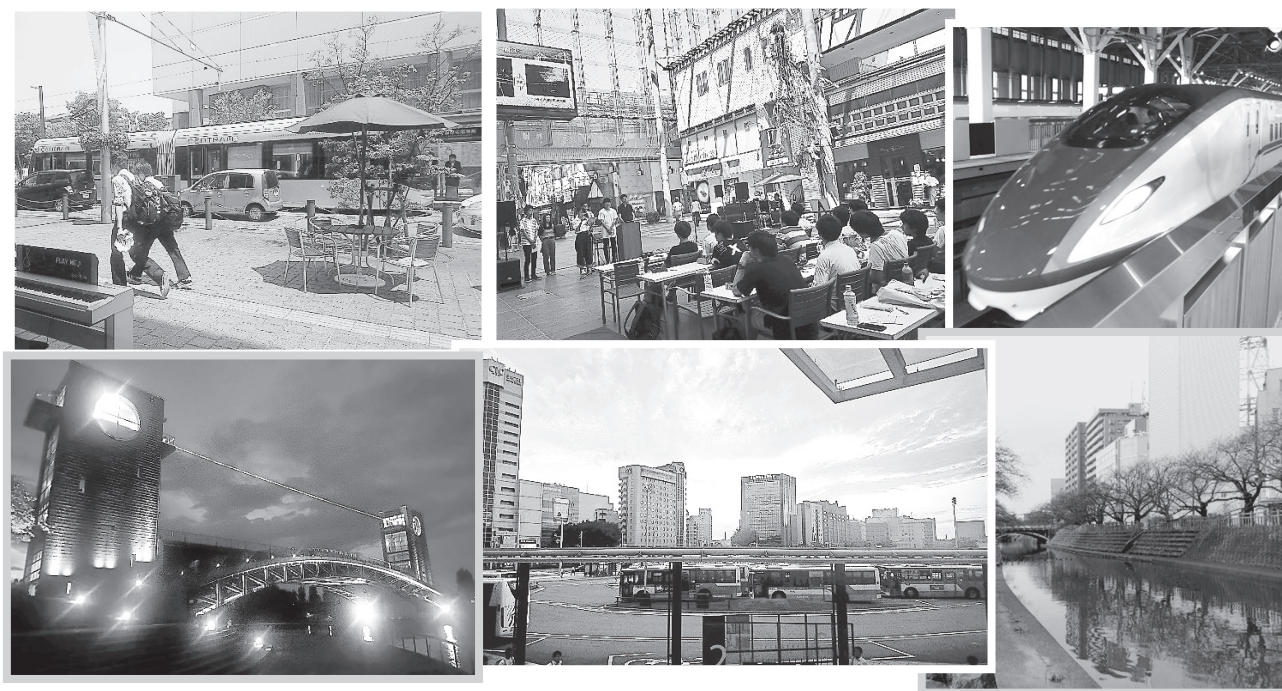
<http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/>

（問い合わせ先）	富山大学都市デザイン学部事務室（入試担当） 〒930-8555 富山市五福 3190 電話 (076) 445-6698 FAX (076) 445-6705
----------	--

都市・交通デザイン学科

コンパクトシティ先進地富山で都市と交通の未来を探求！世界へ発信！

都市・交通デザイン学科では、人間の活動領域としての都市と交通を対象に、自然科学、工学、社会科学を基盤としながら、デザイン思考を通じた実践を行うことで持続可能な都市の実現に寄与する人材を育成します。工学、理学、芸術文化学など多様なジャンルを連携・融合させながらも、JABEEに対応した国際水準の教育プログラムを進めていきます。また、理論の学修だけでなく、公共交通を軸としたコンパクトシティ先進都市で知られる富山の街をフィールドとした演習を多く取入れ、より具体的、実践的な教育を行っています。



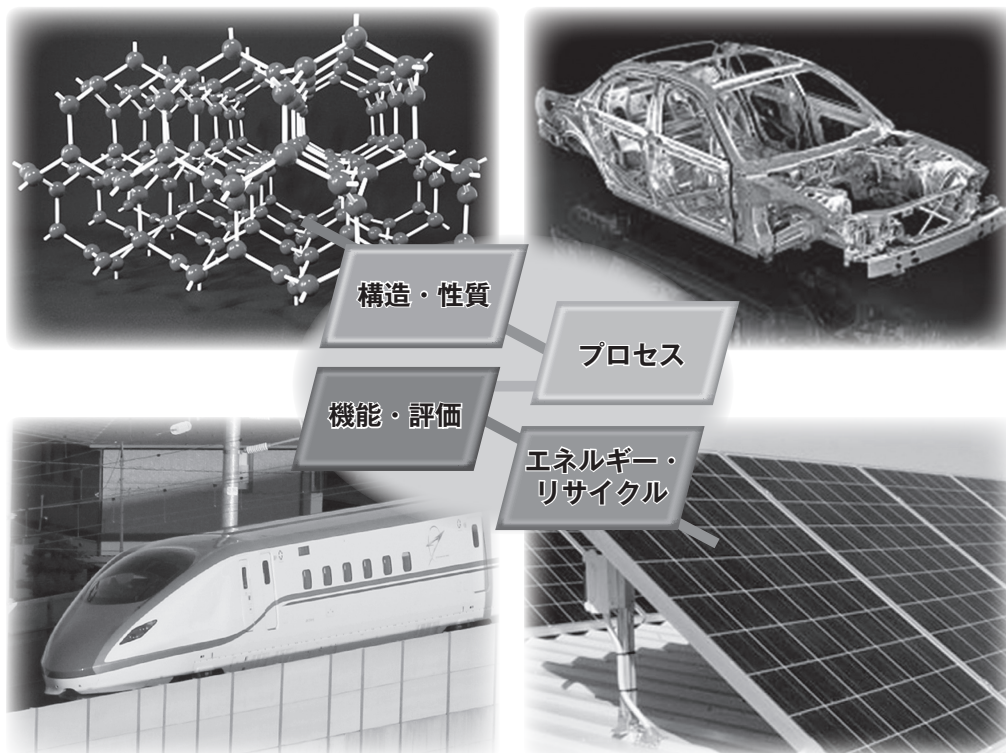
〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野	教育研究内容
インフラ構造学	インフラ構造物、河川・自然環境、計画、設計、施工、維持管理、長寿命化
国土・交通計画学	国土計画、交通計画、交通政策、公共交通、コンパクトシティ、モビリティマネジメント、インフラ維持運営
都市・地域コミュニティ学	都市・地域計画、都市再生、エリアマネジメント、コミュニティデザイン、ソーシャルキャピタル
デザイン・環境学	都市空間計画・設計、景観デザイン、水辺環境、都市・建築工学、プロダクトデザイン、まちづくり、都市形成史
情報・数理科学	データサイエンス、画像処理解析、数値シミュレーション、地理情報システム、高度交通システム、AI、IoT
防災・減災学	自然災害、発生防止・抑制対策、被害軽減対策、防災デザイン、リスクマネジメント、地域安全学

材料デザイン工学科

命を守り、社会を守る未来の基盤材料をデザインしよう！

材料デザイン工学科では、私たちの身近にあるいろいろな製品の元となる素材、つまり材料（金属、セラミックスから樹脂・バイオ材料まで）に関する教育を行っています。授業においては、日本の基幹産業である鉄鋼・非鉄・セラミックスなど各種材料のシミュレーションによる予測・創造から、その製造プロセスの開発、ナノ組織・機能・物性の各制御、材料加工、環境問題・リサイクル、バイオ材料との融合に至るまで、「材料を創造し、利用し、リサイクルする」といった材料の一生を通した材料工学を学びます。



〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教育研究内容
素形制御工学	溶解、鋳造、凝固、素形材、マグネシウム軽金属材料
組織制御工学	ナノ組織、非鉄金属、軽量合金、高信頼性アルミニウム合金、複合材料
機能制御工学	セラミックス、薄膜、金属材料、熱特性、エレクトロニクス
物性制御工学	磁性、超伝導、極低温材料、機能性金属間化合物
環境材料工学	表面化学、腐食・防食、材料電気化学、応力腐食割れ、表面改質
材料プロセス工学	接合、結晶界面、熱物質流体工学、塗布膜製造技術、可視化計測
鉄鋼材料工学	高機能鉄鋼材料、高温プロセス、リサイクル、高純度・高浄化
計算材料学	材料科学、材料シミュレーション、第一原理計算、材料機能予測
材料加工学	塑性加工、機械材料加工、金型設計、樹脂の混練
バイオ材料工学	バイオ材料、生物資源利用、機能性体内環境調節物質、バイオ材料プロセス